

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

項目数

11

2

1

3

3

2

2

1

1

6

1

2

1

2

11

9

2

合計 30

事業所番号	4691200036
法人名	有限会社 稲満会
事業所名	グループホーム うらら
訪問調査日	平成20年9月6日
評価確定日	平成20年11月6日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月17日

【評価実施概要】

事業所番号	4691200036
法人名	有限会社 稲満会
事業所名	グループホーム うらら
所在地	霧島市国分下井2988番地 (電話) 0995-46-1778

評価機関名	特定非営利活動法人 NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48-13		
訪問調査日	平成20年9月6日	評価確定日	平成20年11月6日

【情報提供票より】(20年6月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	9 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 10.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り 1階建ての 1階 ~ 1階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(6月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 85.88 歳	最低	69 歳	最高	103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	隼人温泉病院 田中内科消化器科 井料クリニック
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道から少し脇道に入った桜島を望む田園地帯にゆったりとした敷地を生かし、明るい南欧風の木質感あふれる建物にデイサービスと併設されている。開設2年目を迎えたばかりのホームではあるが、運営者・管理者・職員のチームワークも良く理念にそったサービスが提供され、利用者は個別性を重視したサービスに見守られながら穏やかな日常を過ごしている。家族や地域との連携、信頼関係づくりの取り組みにも成果が見られ、地域密着型サービスとして充実、また発展が期待されるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員会議の中で定期的に評価に取り組み、ケアサービスの振り返りの機会とし、現在の状況の見直しに活かしている。自己評価は全職員で意見を出し合い行っている。	
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	定期的な地域代表者も参加し、開催している。ホームの活動内容、利用者の状況、事故について報告している。また、参加者からの活発な意見をもらいサービス向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	家族との関係づくりを大切に、面会や家族会、運営推進会議などで家族の思い、意見を聞いている。家族の意見、苦情を運営に反映させていく取り組みができています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	自治会に加入し、地域活動の情報を集め、諸行事に参加している。学生の実習体験やボランティアも受け入れている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	うららかな日々を過ごしてもらいたい思いをこめた事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	リビングに理念が掲示されているが職員との共有化を図るために、日々の話し合いの中で理念の確認は繰り返し取り組まれている。		理念は職員はもとより利用者、家族、外部の方々にも周知する事が望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、いきいきサロンに参加したり、地域の行事にも参加している。学生の実習体験やボランティアも受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議の中でケアの振り返りをする意味で定期的に評価し、現在の状況の見直しに役立っている。外部評価は今回が初めてである。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、ホームの状況、活動や事故について報告している。参加者からの意見をもらい、全職員が共有し、サービス向上に努力している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険更新手続きなどで相談、助言をもらったり、また市が主催する行事(健康福祉祭りなど)に参加したりして交流をもっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お知らせ文書で報告している。面会時または状況変化時には随時、連絡・報告している。金銭管理は定期的に家族の確認をうけ、サインをもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、運営推進会議、家族会をとおして家族の意見、苦情を運営に反映させていく体制ができています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームの本来あるべき姿を認識し、職員と利用者、家族とのなじみの関係を重要視した配慮が出来ている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加し、知識の習得に努めている。研修参加者は復命研修報告されている。また、閲覧できるようにしてあり、職員の技術や知識の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催する行事、研修会などに参加し、職員同士の交流、勉強会が出来ている。近くの小規模多機能ホームとの交流も図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用する前にホームの職員が家族、本人と直接会い、面談し、納得した上でホームの雰囲気になじんでもらい、サービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の暮らしの中でできることは一緒に行い、利用者職員がゆっくりと1対1の取り組み(生活リハを念頭に利用者の残存能力を活かしたケア)を実践、支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの暮らしの歴史を知り、日常の会話から利用者の希望や意向に耳を傾け、思いにそえるよう努めている。把握が困難な場合は家族の意向を参考に、職員間で検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケースカンファレンス、担当者会議を行い、多方向からの意見をまとめて本人本意の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にもニタリングを行い、変更が必要か検討し、実状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	墓参りや病院受診に家族が付き添えない利用者を職員が同伴するなどの柔軟な対応をしている。		事業所の多機能性を活かした柔軟な取り組みとして、事故につながる恐れのある「ヒヤリハット」の事例を申し送りノートか、日報などに記載する欄を設けて記録し、対策について話し合い、管理者及び職員間の共有化が望まれる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前のかかりつけ医で受診できるよう対応している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時より話し合いの機会をつくり、重度化や終末期の対応について家族、かかりつけ医、職員と十分協議し、方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の誘導や身だしなみ、居室のドアの開閉など、利用者の意向を尊重し、誇りに気遣い、またプライバシーを確保している。採用時、職員は個人情報保護に関する誓約書を提出している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活のマンネリ化を防ぐさまざまな取り組みを計画されている。一人ひとりの思いやペースを大切にしながら職員は柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリの一貫として職員は利用者と一緒に準備、食事、片付けをしている。コミュニケーションをはかりながら和気あいあいと食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	定期的に声かけを行い、利用者の希望にそって実施している。利用者の多くは併設のデイサービス場の炭酸泉浴場での入浴を楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の体や脳を使ったレクリエーションの中で体レク、脳リハ、手作りすごろく、手工芸、菜園・花壇の手入れ、散歩を楽しんでいる。日課の役割、分担など利用者主導の楽しみが持てるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員同伴のもと外出や散歩を随時支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中、開放している。利用者は一日の大半をリビングで過ごしているの見守りを重視している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域住民、利用者の参加をもらって、年2回避難訓練を実施している。地域の消防団との連携もとれている。また、災害時の備蓄もできている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量をチェック表に記録し、一人ひとりの状態に応じた摂取量の確保ができるよう支援している。栄養バランスは管理栄養士のアドバイスを受けて把握している。野菜中心の食事を支援している。体重測定は月1回実施している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	真新しい木のぬくもりに満ちているリビングは、ウッドデッキやゆったりとした風景が見られる明るい共用空間になっている。ソファや観葉植物、小物類が置いてあり、生活感や季節感を採り入れ居心地よく過ごせるよう工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、備え付け棚以外は利用者のなじみのある家具、鏡台などを持ち込み、個性あふれる明るい清潔な居室になっている。		